

R7.9.20（土）13:30～15:30

大規模災害のみの想定ではなく、身近な災害にも対応できるよう準備（必要なもの・ことを把握）し、災害発生後、各家庭での初期対応を早め、さらには防災意識の向上及び関係機関との連携をはかることを目的とし、学校、地域（医療）、保護者間で必要とする対策及び情報の共有をめざすために、昨年度よりブラッシュアップした防災イベント「岸和田支援防災フェス」を実施しました。

授業参観後に防災士の講演を行い、放課後に各ブースでのイベント開催という形で行い、今年度は放課後等デイサービス事業所や支援学校関係者、保健師さんなど、多数の外部機関関係者に参加いただき、賑やかな雰囲気の中、学び多き充実した時間を過ごすことができました。

以下、各ブースの内容について、報告させていただきます。



## 1. 防災士による講演

【担当】一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会

【内容】協会理事で福祉防災上級コーチの湯井さまによる講演を授業参観後に行いました。この講演では、湯井さん自身の経験を通じて、災害時の心構えと地域の連携の重要性を教えてくださいました。避難所での生活の厳しさや情報不足による混乱、行政との連携の難しさなど、実体験に基づく課題が紹介されました。また、平時からの備えとして、地域住民の関係づくりや、防災訓練の継続的な実施の必要性が強調されました。防災士としての活動を通じて得た知見をもとに、参加者に防災意識の向上と実践的な準備の大切さを呼びかける内容でした。



## 2. 避難所体験コーナー

【担当】岸和田市役所危機管理部危機管理課

【内容】避難所体験コーナーということで、昨年度に引き続き岸和田市役所の皆様に段ボールベッドやテント式トイレ、プライバシーテントを設置していただき、来場された方が実物を見て体験することができました。避難所で過ごす際に役立つグッズや実際に災害現場に行かれて体験した生のお話や映像で学ぶことができ、各家庭で避難する際の準備について考える機会となりました。



### 3. 災害時のおむつ使用等についてのレクチャー（臭い防止や身体清拭用品等）、簡易トイレ展示

【担当】川村義肢エイドセンター大阪

【内容】本校 PTA のサークル活動でも何度かお話を伺っている川村義肢エイドセンター大阪のおむつフitterの方に展示やレクチャーをしていただきました。ビニール袋を使った代用おむつの作り方や排泄物の拭き取りがしやすくなる保湿剤のサンプル、いろいろなおむつの紹介等、役立ちそうな情報をたくさん教えていただきました。実際に下腹部の模型を使って教えていただき、大変わかりやすかったです。段ボール箱やペットボトルで作る簡易トイレも好評でした。



### 4. 災害時に使えるロープワークの実演や体験コーナー

【担当】自衛隊 阪南地区隊 岸和田地域事務所

【内容】自衛隊地域事務所の方に来ていただき、災害時に使えるロープワークや担架の作り方を教えていただきました。ロープワークのレクチャーは、テンポの良い口調で、参加された皆さんは動画を撮るなどして熱心に聞いていました。担架も棒とシートで作る方法など具体的に教えていただきました。被災地域での自衛隊の活動の様子もたくさんのパネル展示で教えていただきました。



### 5. 災害時の医療機器使用についてのコーナー

【担当】株式会社 L.C.P.

【内容】臨床工学技士に来ていただき、災害時の電源確保についてレクチャーしていただきました。災害時の在宅避難で必要となる蓄電池の容量や消費電力を減らす方法、蓄電池以外で電力を生み出せるものや蓄電池購入時のポイントなど、災害対策の具体的な方法や知識をたくさん教えていただきました。災害時の備えとともに、いろいろな方法を学んで自助力を高めることが大切だとわかりました。



## 6. 防災備蓄非常食のサンプル展示、サンプル品配布コーナー

【担当】尾西食品株式会社

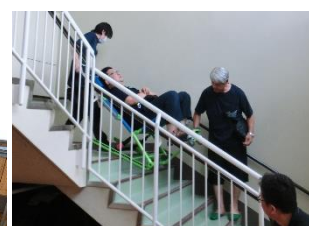
【内容】本校の備蓄非常食でも準備している食品のある尾西食品にサンプル品とカタログを多数提供していただきました。参加者が次々とやって来て、気になる商品を手に取っていました。ごはんやパンだけでなく、おかずやデザートもたくさんの種類があり、備えておくべき非常食について、大変参考になりました。



## 7. 災害時に役立つ防災グッズの展示、体験コーナー

【担当】川村義肢株式会社

【内容】今回初めて設置したブースとなりました。災害時に役立つ立ちそうな抱っこやおんぶなどの介助グッズの紹介や悪路でも進める電動車椅子の試乗体験があり、保護者も実際に試乗して、乗り心地を確かめていました。階段を下る器具の紹介もあり、実際に体験した教員や参観していた方は驚きの声をあげていました。



## 8. 児童生徒お楽しみコーナー1

【担当】PTA

【内容】PTA では、子どもたちが楽しめるコーナーを校内にある器具や発電機から取った電源で作れないか考えました。ボウリング、千本引き、発電機の電源を利用したエアートランポリン、の3コーナーに加え、今年度は介助用リフトの体験コーナーを設けました。児童生徒、きょうだいに大人気で、時間いっぱいまで全力で遊んでいました。介助用リフトは、普段の学校生活であまり利用していない児童生徒が体験でき、緊張した表情もありましたが、スリングで安全にリフトされる感覚を知ることができました。



## 9. 児童生徒お楽しみコーナー2

【担当】教員、PTA

【内容】昨年度のやきいもに変わり、校内にあるわたあめ機を使って、色付きのざらめ糖を使ったカラフルなわたあめとジュースを提供しました。次々とできあがるわたあめで特別教室棟全体が甘い香りに包まれていました。縁日遊びで上達した先生たちのわたあめ作りに子どもたちも大喜びでした。



## 10. 校内にある防災備蓄品展示コーナー

【担当】教員

【内容】PTA では各家庭に非常用の持ち出し袋を用意していただき、長期休みに賞味期限など点検していただいています。学校に保管している防災備蓄品もこの機会に確認していただきました。非常用の食品やトイレ用品、寝袋や毛布など、見たり、触ったり、寝転んだりして学んでいました。今年度購入した災害時用の大型テントの展示もありました。展示では、側面はオープンになっていましたが、実際は四方を囲むことができますようになります。



## 11. PTA 安全点検

【担当】PTA

【内容】参加者が校内の危険なところをゲーム感覚で探そうという取り組みでしたが、魅力的なブースが多すぎて、探す暇もなかったようです。用意していた防災グッズの景品は、帰る際に持ち帰っていただきました。学校では、引き続き安全点検を行い、児童生徒が今後も安心して通えるように取り組んでいきたいです。



## 参加者からの感想

ご参加いただいた方にアンケートを実施しました。今回の岸和田支援防災フェスについて、「イベントにはどのくらい満足されましたか」「ご自分の仕事との関連性や、仕事に役立つ部分はありましたか」の質問には、1～5点の設定で3点以上の回答がそれぞれ99%と91%でした。各ブースについても3点以上の回答が89%～96%と参加された方にとって満足のいくものであったように思います。また、以下、自由記述でいただいた感想の一部を記載させていただきます。

- ・初めて参加させていただきましたが災害時に何をどのようにしておけば良いか等今まで以上に明確に考えさせられました。様々な方が参加されていましたが市の職員さんにも障がい児の避難のことなどを知っていただきたいと思いました。
- ・沢山の役立ち情報を習得できたイベントでした。ありがとうございました。
- ・蓄電池や備品などとても参考になりました。わたあめやトランポリンなど子どもたちも楽しめました。
- ・きょうだい児も楽しめてとても良かったです。参観後ということもあり、参加しやすそうだった。
- ・楽しみながら大事な情報を共有できる、貴重な機会となったと思います。保護者から「こんな内容とは、去年はわからず不参加にしていた」との声がありました。口コミで参加者が今後増えていくかもしれないと感じました。
- ・生徒が楽しみながら防災を学ぶ姿をみて、大切にしていけるべき行事だと思った。
- ・子どもが楽しめるブースが多く、楽しく参加できました。
- ・とても有意義だったと思います。電動車椅子やリフトを実際に使えるのがよかったと思います。
- ・防災に関しての取り組みだけでなく、子どもたちが楽しめる環境を提供されていることに感動しました。とても、よい取り組みだと思います。
- ・去年よりレベルアップしていて楽しかったです。防災が身近に楽しく学べる機会を作っていただけたことに感謝。
- ・防災に対して大変勉強になることに加えて、遊びもあって大変活気に溢れていて盛り上がっていたのがよかったと思います。
- ・きょうだいも参加できる楽しいイベントでした。学びもあり、でも堅苦しくなく交流もできました。
- ・リフト体験良かった。新しいブース来年もあるといい。